

科目名	環境都市工学特別研究 Thesis Works	科目コード	A3010
-----	----------------------------	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学専攻・1年、2年（プログラム3、4年）
担当教員	環境都市工学科全教員

教科書	
補助教材	
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

専攻分野における特定の研究課題について、指導教官のもとで個々に研究(環境および材料・構造の分析・評価、計画案などの作成・評価)し、その成果を論文にまとめる。研究成果の学会への報告を目標とする。この科目において、一貫した研究行為を体験することにより、技術の開発・発表・適用に関する研究能力を養成する。

関連する科目：これまで学んだすべての科目

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)、(D)、(E)、(F)、(G)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連

<p>研究目的を設定し、計画を立て、実験や調査を実施する方策を習得する</p>	<p>40%</p>	<p>G1,G2,G3 D3,D4,E2,E3</p>
<p>研究内容を分かりやすくまとめ、文章化し、プレゼンテーションを行う技術を習得する</p>	<p>40%</p>	<p>B2,B3</p>
<p>校外の学会発表会等での口頭発表を行う</p>	<p>20%</p>	<p>F2</p>

【C . 履修上の注意】

2 年間にわたる研究なので、本科の卒業研究よりかなり高いレベルの研究成果が期待される。この点に考慮

研究なので、本科の卒業研究よりかなり高いレベルの研究成果が期待される。この点に考慮し、学術論文の学習やインターネットを利用した情報検索など、自主的で積極的な取り組みを要する。校外での発表を強く推奨する。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する．60 点以上を合格とする．

定期試験（0%）【内訳：前期中間0%，前期末0%】

その他の試験（0%）

レポート（特別研究論文（主査60%、副査20%））

その他（特別研究発表会でのプレゼン：20%）

【E．授業計画・内容】

通年

特別研究は専攻科の主科目である。各研究室単位で特別研究指導教員による指導のもとに実施する。成績は、特別研究論文の内容（校外発表の実績を含む）（主査60%、副査20%）と全教員と技術協力会員による特別研究発表会でのプレゼンテーション（20%）で評価する。